

株主各位

第 42 期定時株主総会へのご出席御礼

2022年6月24日に開催いたしました「定時株主総会」、また総会終了後に開催された「経営近況報告会」には約30名の株主様のご来場を賜り、誠にありがとうございました。今後も、総会を株主様と経営陣の対話の場と位置付け、オープンかつフランクに運営をしてみたいと存じますので、引き続きご支援をお願い申し上げます。

さて、本総会および経営近況報告会では、ご出席の株主様から多くのご質問をいただき、各担当取締役から回答を差し上げましたので、その主な内容をご報告いたします。

(問)株主の間では、IR担当者の評判が悪い時がある。現に、IRに質問を送ったのに、2月以降は全く回答が来ない。それまでは、答えられる内容でないとしても、これは答えられないという返信が来ていたのに、株主を軽視しているのか？又は、方針が変わったのか？

(答)お返事を差し上げていないとのこと、誠に申し訳ございません。お返事を差し上げていないという認識はないのですが、何か手違いがあったということも考えられますので、本日、調査の上、ご連絡を差し上げます。

また、IRに対して株主の皆様がご不満をお持ちだということは承知しております。開示できる情報が少なく、株主の皆様を長らくお待たせしていることについて、大変心苦しく思っております。方針が変わった、または株主様を軽視しているということは決してございません。できる限りの対応をして参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(問)昨年の経営近況報告会での回答では、ナノマテリアル事業についての引き合いが来ている顧客は20数件とのことだったので、1年経った今は100件以上になっているのではないかと推測しているがどうか？

(答)数字としては数十件で、そのうちの何件かが量産の検討に入っている状況です。

(問)数十とは50件くらいと考えて良いか？

(答)結構です。

(問)福島工場の募集要項の一部に、日本産業界のインパクト、競争力の高い特性、といった表現があるが、具体的にどんなところが競争力が高いのか？

(答)カーボンナノファイバーに限って申し上げますと、当社独自のサイズです。もっと細かいカーボンナノチューブやセルロースナノファイバーというものもありますが、どれも、非常に分散が難しく、当社のサイズのカーボンナノファイバーは、分散性に優れているという点が挙げられます。

(問)四季報に、復配、自社株買い、9月量産という記載があったが、この真偽について伺いたい。

(答)まず、四季報の記載につきましては、当社からリークした内容でないことをご報告致します。当社発信の内容とは異なる記載について、先方に問い合わせを致しましたが、当社の開示資料や心証などから記載していることであるとの回答を得ております。

復配、自社株買いの真偽につきましては、本日ご決議いただきました第一号議案の内容を実施することにより、近い将来に検討に入る可能性が出てきたことは事実でございます。

9月量産という点につきましては、9月に工場が稼働いたしますが、その後数か月はスケールアップなどの試運転を行い、本格生産が可能になるのは11月と見ております。

(問)福島工場が完成したら、株主向けの工場見学などは予定していないのか？

(答)検討し、実施する場合には、株主様にご連絡を申し上げます。

(問)特許は出さないのか？

(答)既に数件の特許を出願しております。近々公開される予定です。

(問)福島工場が完成するまでには相手先や内容を開示してくれるのか？

(答)お客様の方も、同業や海外との差異化を図っているもので、今後も更に開示が難しくなる可能性も考えられます。

(問)海外から競合が出てきたらどうするのか？

(答)大変難しい技術ですので、海外では難しいと考えています。

(問)昨年、社長が、資金は全て新規事業に投資すると言っていたが、復配というワードが出てきたのは、社内で何か大きな変化があったのか？

(答) 昨年の発言は、最終的に営業利益が計画値より良い結果だったため、それが期中早い時期に判れば新規事業に更に資金を投入できたという意味で話しました。計画値へのこだわりがあり、平素より予実管理を行なっているのですが、早期に結果を予測し、対処、または展開することが重要と考えています。一方、経営にはバランスも重要ですので、早期復配は目指して行きたいと考えています。

(問) 目先の復配より、大金を使ってでも事業を成功させてください。

(答) 心強いお言葉ありがとうございます。株主様への利益の還元も行いながら、事業への投資も行って参ります。

以上でございます。

数々のご質問をいただき、ありがとうございました。

次回はより多くの株主の皆様とお会いできることを期待しております。

役職員一同、社業の発展に邁進する所存でございますので、引き続きのご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月27日
株式会社アルメディア
代表取締役社長
高橋 靖